

バスケットボール用語集

ようご 用語	いみ 意味
アウト・オブ・バウンズ out of bounds	ホールのエンドかサイドのライン上、もしくは外の床に落ちることや、コートの外にいるプレーヤーがホールに 触れた場合、ホールがバックホートの裏や支柱に当たった場合などをいう。
アウトサイドスクリーン outside screen	オフェンスプレーヤーが味方の後方(ゴールより遠く)を擦れ合うように動くことによって生ずるスクリーン。 (インサイドスクリーンの反意語)
アウトサイドフット outside foot	外側の足、あるいはゴールから遠い方の足。(インサイドフットの反意語)
アウトナンバー out number	有効な攻撃が展開できる場所で、オフェンスがディフェンスよりも多い人数であること。 (オーバーナンバーの反意語)
アウトレットパス outlet pass	ディフェンスリバウンドの後、最初に出すパス
アシスト assist	パスが直接得点に結びつくことをいう。ただし、パスを受けたプレーヤーがドリブルで相手を抜いてから シュートした場合はアシストとはいわない。
アシストパス assist pass	ホールを受け取った者がディフェンスをかわず動作をすることなくシュートし、それがゴールインするように届けるパス。
アーチ arch	シュートが描く放物線の軌跡(ループと同意語)
アンスポーツマンライクファウル	明らかにわざと犯したファウルなど、スポーツマンらしくない行為をさすファウル。 わざと相手のプレーヤーを押しつけたり押さえつけたり、蹴ったり殴ったりすること。
イリーガルドリブル illegal dribble	ダブルドリブルやオーバードリブルなどに課されるバイオレーション。
イリーガルスクリーン illegal screen	スクリーンをかけた後に動くなど、正しくないスクリーンを行った場合に課されるパーソナルファウル。
イリーガルユースオブハンズ illegal use of hands	手を使って相手プレーヤーを掴んだり、はいたりして相手プレーヤーの動きを妨げる行為のこと。
インサイドアウトドリブル inside out dribble	ドリブルフェイクのひとつで、クロスオーバードリブルを行うようにみせて実際は手を変えない方法。 ホールが身体の中心に移動してから再び外側に動くためにこのような名前前で表現する。
インサイドスクリーン inside screen	オフェンスプレーヤーが味方の前方(ゴールに近く)を擦れ合うように動くことによって生ずるスクリーン。 (アウトサイドスクリーンの反意語)
インサイドフット inside foot	内側の足、あるいはゴールに近い方の足。(アウトサイドフットの反意語)
インターセプト intercept	オフェンスのパスを途中(空中)で奪うこと。
インターフェア interfere	シュートされたホールがリングの上にあるときに、リング・ネット・バックホートに触れた場合に課されるバイオレーションの こと。ネットの下から手を突っこんでホールにふれた場合なども含まれる。
インバウンド inbound	スローインでコート内に投げ入れること。
インライン in-line	ディフェンダーが、マークマンとゴールを結んだ線上で、マークマンよりもゴールに近いポジションを占めること。
ウィークサイド weak side	2つの意味に使われる。両方のゴールを結んだドリラインによってコートを縦に二分した時のホールのない方の側を いう。他の1つはディフェンダーの前足の側をいう。いずれもディフェンスにとってウィークなサイドと意味。
ウィーブ weave	交差する動き、すなわちパスをした後その相手の後ろ(または前)を通る動きを、3人以上が 循環的に連続させること。

バスケットボール用語集

ようご 用語	いみ 意味
ウイング wing	フリースローラインの延長線上のフォワードポジションのこと。
ウイングマン wing man	ファーストブレイクの時に、サイドレーンを走る選手のこと。
エルボ elbow	フリースローラインのどちらかの端(フリースローラインとサークルの交点)を指す。
エントリーパス entry pass	オフェンスがセットオフェンスに入る時の最初のパス。
インプティ empty	選手が誰もいない状態のこと。
オーバータイム over time	時間制限に関するバイオレーション。3秒ルール、5秒ルール、8秒ルール(中学校以上)、24秒ルール(中学校以上)、30秒ルール。
オーバープレイ over play	オフェンス選手に特定のプレーをさせないことを目的として、ディフェンダーが通常の動きの範囲を越えてディフェンスしたりある特異な動きを強調して行うこと。
オーバーロード over load	ある場所において人数の上で優位になるために、ディフェンダーの数よりも多くオフェンス選手を配置させること。
オープンスタンス open stance	オホールのディフェンダーが、ホールの方へ身体の正面を向けて構えるスタンスのこと。 (クロススタンスの反意語)
オフェンスファウル offence foul	攻めている側のプレーヤーが犯すファウルのこと。
オペレーションゾーン operation zone	ホールを受け取った時に直ぐに効果的な1対1の攻めができる場所のこと。
ガード guard	発祥当時は、自チームのゴール周辺に位置し、攻め込んでくる相手フォワードを防御する選手のことを指していたが現在はゲームをコントロールする指令塔的な役割を果たす選手を指すようになった。
カッター cutter	カットする選手をいうが、狭義ではスクリーンを利用して動く選手のことをいう。
カット cut	オフェンス選手のある場所からある場所への移動を"カット"という。移動する軌跡や移動の方向を示す言葉ともなって、Vカット、カットインなどと使われることが多い。
カットアウェイ cut away	スクリーナーがスクリーンをセットしたあと、ゴール方向へカットする動き。
カットイン cut in	攻めている側のプレーヤーがドリブルで抜いたり、ホールを持たずに走り込んだりして、相手プレーヤーの内側に入り込むこと。
カットオフ cut off	スクリーナーを利用してカットする動き。
キッキング kicking	ホールに足が触れた場合のバイオレーション。わざと蹴ったりした場合はもちろんだが、わざとではない場合でもホールが足に当たったプレーヤー側に結果として優位に働けばキッキングになる。
ギブアンドゴー give and go	ホールを持っている選手が味方にパスし、ディフェンダーを振り切ってリターンパスをもらうプレー。 (パスアンドランも同意語)
ギャップ gap	ディフェンダー同士の隙間のこと。
クリアアウト clear out	場所を空けること、その場所からいなくなること。クリアと同意。

バスケットボール用語集

ようご 用語	いみ 意味
クローズアウト closed out	ディフェンダーが、オフェンス選手との間合いを詰めるときのフットワーク。
クローズアップショット close up shoot	ランニングショットのフォームのひとつで、ワンハンドのセットショットやジャンプショットのようにボールを支えて行うショット。 掌を上にしてボールを載せるレイアップショットと区別して使われる。
クローズスタンス closed stance	オフボールのディフェンダーが、ボールの方へ身体の背面を向けて構えるスタンスのこと。 (オープンスタンスの反意語)
クロスオーバーステップ cross over step	軸足に対してリードフットが交差するステップのこと。
クロスオーバードライブ cross over drive	クロスオーバーステップしてドライブすること。
クロスオーバードリブル cross over dribble	ドリブルによる方向転換の方法の一つ。身体の前で左右の手にボールを移し変える方法。
クロスコートパス cross court pass	ボールサイドからヘルプサイドへとコートを横切るパス。
クロススクリーン cross screen	レーン(制限区域)を横切って行われるスクリーンのこと。
コフィンコーナー coffin corner	棺のコーナーという意味。センターラインとサイドラインによって作られるコーナーをさし、その場に立ち止まってはならないという意味を持っている。
コンビネーションディフェンス combination defence	オフェンスの動きに対応して、ゾーンとマンツーマンを併用すること。
サグ sag	ディフェンダーが、ボールの移動に伴って、自分のマークマンから離れてボールラインまで下がってヘルプポジションをとること。
シール seal	相手に密着して動きを封じること。例えば、オフェンス選手がディフェンダーに背中や腕をピッタリくっつけてディフェンダーが前に出てパスを阻止しようとする動きを封じること。
シェルディフェンス shell defence	ヘルプアンドリカバーを徹底して、貝殻が閉じるようにディフェンスを固め、特にインサイドへの攻撃を簡単にさせないディフェンス。
ジャンプショット jump shot	止まったままだったり、走り込んだりせず、ジャンプして放つショット。 ディフェンダーに邪魔されないように後ろに下がりがながら飛び放つジャンプショットはフィダウェイジャンプショットという。
ジャブステップ jab step	ボールを持った時の1対1の攻撃で、リードフットをつかかってディフェンダーの反応を見るために踏み込む小刻みのステップのこと。ドリブルの突き出しをする前のフェイクとして使われる。
ジャンプストップ jump stop	歩いたり走ったりした状態から(一度ジャンプして)両足同時にストップすること。
シューティングハンド shooting hand	ワンハンドショットを打つときのボールを放つ方の手。
シューティングポケット shooting pocket	ショットを打つ前のボールの位置をさし、ボールを顎の下に保持した状態。
ショウディフェンス show defence	スクリーンプレーに対するディフェンス方法のひとつ。スクリーナーのディフェンスがスイッチすると見せてカッターの動きを一度中断させ、カッターのディフェンスが戻るまでの時間を稼いで対応しようとする方法。
ショートコーナー short corner	フリースローレーンを規定する斜線とエンドラインが作るコーナーをいう。特にゾーンオフェンスの際にホストマンが占める重要な位置になる。
ショットセレクション shot selection	どのような状況で、どの場所からショットするのが良いかを選択すること。選択するには様々な条件(フアバランス、ショットの確率、リバウンド、セフティなど)がかかわる。

バスケットボール用語集

ようご 用語	いみ 意味
ショットレンジ shot range	ホ-ルが無理なく届くショット範囲のこと。
スイッチ switch	スクリーンプレーに対するディフェンス方法の1つ。スクリーナーとカッターのディフェンダーはそれぞれマークマンを取り替えること。
スイング swing	ホ-ルを大きく移動させること(例:ホ-ルを持って左右に振る)。あるいは左右の離れた選手が入れ替わること。
スカウティング scouting	対戦試合に備えて、相手チームのことを事前に調査研究することをいう。
スキップパス skip pass	隣の選手をとばしてその向こうの選手に送るパス。
スクエアアップ square-up	ゴールまたは自分についているディフェンダーに対して正対して身構えること。
スクエアスタンス square stance	両肩、両足を前後せず、平行にした構え方。
スクリーン screen	オフェンス選手がディフェンダーの進路を妨げる位置を占め、味方がオープンになることを助けるプレー。 スクリーンをセットする選手をスクリーナー、スクリーンを利用してカットする選手をカッターもしくはユーザーという。
スクリーンアウト screen out	リバウンドを取られないように、ディフェンダーがオフェンス選手を背中に押さえ込んで動きを止めること。 (ブロックアウト、ホックスアウト、コンテストも同意語)
スタガードスクリーン staggered screen	カッターに対して、2人のスクリーナーが少し離れてタイミングをずらして(時間差で)スクリーンをセットするスクリーンプレー。
スタック stack	ホ-ストエリアに選手が2人並んだ状態のこと。あるいはそれをりょうじた攻撃方法のこと。
スタンス stance	左右それぞれの足の位置(両足の位置関係)、あるいは足幅を示す。
スティール steal	パッサー、ドリブラー、リバウンダーといったホ-ル保持者からホ-ルを奪うこと。
ステップバック step back	後ずさりすること。
ストーリング stalling	勝っているチームがホ-ル保持時間を意図的に長くして時間の経過を図ること。 (フリージングも同意語)
ストレートゾーン straight zone	ただ単に2 - 3や3 - 2などの隊形をとるゾーンディフェンス。
ストレートドライブ straight drive	クロスオーバーしないでリードフット側にそのままドライブすること。
ストロングサイド strong side	2つの意味に使われる。両方のゴールを結んだミドルラインによってコート縦に二分した時のホ-ルがある方の側をいう。他の1つはディフェンダーの後ろ足の側をいう。いずれもディフェンスにとってストロングなサイドという意味。
スピンドリブル spin dribble	ドリブルしながら素早い回転(ロールまたはバクスターン)をすること。
スペーシング spacing	オフェンスの選手同士の間隔。
スポットパス spot pass	軌跡が放物線を描く山なりのパスで、ある点に落とすという意味でこう呼ぶ。

バスケットボール用語集

ようご 用語	いみ 意味
スライドステップ slide step	まゆう あし こうさ ゆか うえ すべ あし はこ いどう 左右それぞれの足を交差させずに、床の上を滑らせるように足を運んで移動するフットワーク。
スライドスル- slide sthrough	たい ほうほう あいだをとあ スクリーンに対するディフェンス方法の1つ。カッターのディフェンダーがスクリーナ-とスクリーナのディフェンスの間を通過してスクリーンをすり抜ける。
スリーポイントプレー 3point play	もら き さら てん ついか とくてん ファウルを貰いながらシュートを決め、フリースローで更に1点を追加できるような、3得点をねらうプレーのこと。
セーフティ safety	さい さいこうび いち し あいて ようい そっこう ゆる オフェンスの際に、最後尾の位置を占め相手に容易な速攻を許さないようにすること。
セカンダリブレイク secondery break	そっこう せ とき けいぞく こうぞく せんしゅ てんかい おこな こうげき ファーストブレイク(速攻)で攻めきれなかった時に、継続して後続の選手に展開して行う攻撃。
セットオフェンス set offence	たいけい ととの じょうたい にん ととの じょうたい ディフェンスの隊形が整った状態、つまり、マンツ-マンではピックアップ、ゾーンでは5人のポジションが整った状態における攻撃。
ターゲットハンド target hand	う とき まと て たと とき とお ほう て パスを受ける時に的になる手をいう。例えばポストマンがポストアップしている時にはディフェンスから遠い方の手がターゲットハンドになる。
ターンアラウンドシュート turn around shot	う と あと かたあし じく ほう インサイドでゴールとディフェンスを背中にしてボールを受け取った後、片足を軸にしてゴールの方へフロントターンをして打つシュートのこと。
ターンオーバー turn over	がわ ほし うしな オフェンス側がミスプレーやバイオレーションによってボール保持を失うこと。
ダウンスクリーン down screen	うご スクリーナ-がハイサイドからローサイドに動いてセットするスクリーンのこと。
ダグイン dug in	せんしゅ まえ で せなか あいて お こ インサイドにいるオフェンス選手がディフェンダー-の前に出て、背中で相手を押さえ込むプレー。
タップパス tap pass	おこな きちんとしたキャッチをせずに、ボールをはじくようにして行うパスのこと。
ダブルスクリーン double screen	ふたり なら 2人のスクリーナ-が並んでセットするスクリーンのこと。
ダブルチーム double team	ふたり ばさ まも ボールマンを2人のディフェンダー-が挟んで守ること。
ダミームーブ dummy move	たと も まね に うご 例えばボールを持たないでジャンプシュートの真似をするなど、似せた動きをすること。
ツーマンゲーム two man game	たい こうげき ガードとフォワードによる2対2の攻撃のこと。
ディープマン deep man	いち せんしゅ スキップパスをもらう位置にいる選手。
ディギン digging	ちか まも て うえ む した ペリメーターのディフェンダー-が、ボールを持ったポストマンまで近づいて守ること。手のひらを上に向けて下からボールを取ろうとした姿勢が穴掘りに似ていることからこう言われる。
ディナイ deny	ふさ も ディフェンダー-がパスレーンを塞いで、マークマンにボールを持たせないようにすること。
ディレイゲーム delay game	こうげき じかん なが ゆる あいて こうげきかいすう すく さくせん 攻撃に時間をかけ、ゲームの流れを緩やかにしたり、相手の攻撃回数を少なくしようとする作戦。
ドライブ drive	すばや うご いどう 素早い動きでドリブル移動すること。

バスケットボール用語集

ようご 用語	いみ 意味
ドライブステップ drive step	こうげきてき 攻撃的なジャブステップのこと。
トラップ trap	ディフェンスがあらかじめ準備した”罠”へオフェンスを追い込み、ミスプレーを誘発させようとする戦術。
トランジション transition	オフェンスからディフェンス、ディフェンスからオフェンスへの切り替え(コンバージョンと同意語)
トリプルスレットポジション triple threat position	ショット、パス、ドリブルのいずれのプレーもすばやくできるような構えをいう。スリースレットともいう。
ドリブルチェンジ dribble change	みぎ ひだり ひだり みぎ 右から左、または左から右へとドリブルするサイド(手)を変えること。
トルネードステップ tornado step	すばや ドリブラーが素早いバックターンをするために、きゅうげき あし ぜんご ひら 急激に脚を前後に開いてターンにつなげる一連のステップをいう。 ディフェンダーのスタンスよりひろく、よりゴールに近づくように行うと効果的である。
トレーラー trainer	こうほう お 後方から追いかけてくる選手のこと。トレーラーはリバウンドを獲得した選手、あるいはセンター選手がなる場合が あお やくめ にな 多く、セーフティの役目も担う。
ドロップステップ drop step	ディフェンダーがリードフット(前足)を後方に引くステップのこと。
ナンバーコール number call	マンツマンディフェンスの際に、それぞれが誰をマークするかを番号を言い合って確認すること。 (和製英語だが、定着している)
バーティカルスクリーン vertical screen	スクリーナーが縦方向に動いてセットするスクリーンのこと(ラテラルスクリーンの反意語)
バックアップドリブル back up dribble	ディフェンスのプレッシャーが強いときに、一度後退して様子をうかがうようにするドリブルのこと。
バックカット back cut	オフェンスのディフェンダーの背中側を通るカット。
バックスクリーン back screen	スクリーナーがディフェンダーの背中方向(背後)からセットするスクリーンのこと。 (アップスクリーンも同意語)
バックドア back door	オフェンス選手がボールにミートする状況で、ディフェンダーがボールサイドをオーバーディフェンスしてきたとき、素早く 切り替えてブラインドサイドをカットするプレー。
ハッシュマーク hash mark	フリースローの時にレーン上に並ぶ選手の境界を示すマークのこと。
パッシングゲーム passing game	選手の配置や動きをフォーメーション化、パターン化するのではなく、ディフェンスに応じた状況判断によって スクリーニング、カッティング、パッシングをうまく機能させるフリーランスオフェンス。
バランスハンド balance hand	ワンハンドショットを打つときのボールを放つ方と逆の手。
パワーショット power shot	本来はリング周辺でディフェンスのブロックショットをものともしないパワフルなショットをいうが、両足踏切による 力強いランニングシュートについてもいう。
バンクショット bank shot	バックボードを利用したショットのこと。
ピック pick	オフェンス選手がディフェンダーの進路を妨げるポジションを占めること(スクリーン、ブロックと同意語)
ピックアップ pick up	ディフェンダーが自分のマークマンを捕まえること。

バスケットボール用語集

ようご 用語	いみ 意味
ビ'ハンドザ'バック behind the back	せなか うし とお 背中の後ろを通したドリブルチェンジのこと。
ピンハンド' pin hand	ディフェンスのプレッシャーを受けながらホ-ルを受けるときに、ディフェンスに邪魔されないようにあてがうて ターゲットハンド' たい つか に対して使われる。
ファイトオー'バ- fight over	スクリーンに対する、ディフェンダーの対応方法の1つ。スクリーナーより下(ゴールに近い側、カッターから遠い側)を スクリーンを避けて動く通常のスライドスルーに比べてより積極的に、スクリーナーの上側を さ うご つうじょう くら せっきよくてき 通って避けるスライドスルー。
ファウルトラブル foul trouble	せんしゆまた おも き 選手又はチームにファウルがかさみ、思い切ったディフェンスができなくなる事。
ファンネルディフェンス funnel defence	チームディフェンスとしてのスタンスの決め方で、ミドルライン(中央線)側の脚を下げるホ'クサーズスタンスをとる方法 (反意語:ファンディフェンス)。じょうご(ファンネル)の形からきている。
ファンディフェンス fan defence	チームディフェンスとしてのスタンスの決め方で、サイドライン、エンドライン側の足を下げるホ'クサーズスタンスをとる方法 (反意語:ファンネルディフェンス)。扇(ファン)の形からきている。
Vカット V-cut	せんしゆ うご きせき じがた 選手の動く軌跡がV字型になるカットのこと。ある場所から目的の場所へ移動するとき、任意の一点で すどき かえ じ もくてき ばしよ いどう 鋭く切り返して(V字)目的の場所へ行く動き。
フィード feed	す こうげき じょうたい みかた だ 直ぐに攻撃できる状態の味方にパスを出す事。
フィリング filling	あ ばしよ いどう 空いている場所に移動してその場所を埋める事。
フェイスガード face-guard	オホホ-ルのディフェンダーが、ホ-ルを見ないで自分のマークマンと向かい合っ み じぶん む あ てディフェイするディフェンス。
フェードアウト fade out	ディフェンスから離れるような動き。
フォロースルー follow through	ショットの際の、ホ-ルが指先から離れた(リリース)後の手の動き。
フックショット hook shot	ディフェンスにブロックされないように、身体の側面から手首を鉤の形のようにさせて行うシュート。 ひじ かる ま おこな ほうほう 肘を軽く曲げて行う方法を'ビ-フックと呼ぶ。
ブラインドエリア blind area	ホ-ルマンから見て、ディフェンスの裏側(陰)になる場所をいう。オホホ-ルマンが長く止まるとはいけ み うらがわ かげ ばしよ ない場所である。(ビジュンエリアの反意語)
ブラインドサイド blind side	選手の視野がなくなるサイドをいう。ヘルプポジションにいるディフェンスにとっては、ホ-ル側がホ-ル せんしゆ しや サイドになり、ホ-ルから遠い側がブラインドサイドになる。
フラッシュポスト flash post	ホ-ルを受けるためにポストに向かって急に飛び出す事。
フリーフット free foot	ホ-ル保持者がビ'ホットステップする時の軸足(ビ'ホットフット)でない方の足。 (リードフットと同意語)
フレアカット flare cut	ゴールに対し外側に広がるような軌跡のカットのこと。
フロート float	ホ-ルから2パス以上離れたディフェンダーが、ホ-ルの移動に伴って、自分のマークマンから離れて いじょうはな ホ-ルの方へ寄ってヘルプポジションをとること。
ブロックショット block shot	ディフェンスがシュートを空中で叩き、ゴールインを防ぐ動作をいう。
フロンティング fronting	ディフェンダーがオフェンス選手の前面の位置を占める事。

バスケットボール用語集

ようご 用語	意味
フロントカット front cut	オフホールのディフェンダーの前側を通るカット。 まえがわとお
フロントターン front turn	身体の前方向にターンすること。 からだ まえほうこう
ヘジテーション hesitation	ためらい、躊躇の意。ドリブラーが動きを一瞬止めるときや、ディフェンダーがオフェンスに近づくと見せかけて後退したりするときを使う。 ちゅうちよ い うごきを と みせかけて こうたい つか
ペネトレート penetrate	オフェンス選手がドリブルを使って、ディフェンスの間を突き抜けるようにゴールに向かって進むこと。 せんしゅ つか あいだ つ め む すす
ペリメター perimeter	インサイドを取り囲む周辺のエリアのこと。またはディフェンスの防御位置の外郭をいう。 と かこ しゅうへん ぼうぎょい ち がいかく
ヘルプアンドリカバリー help and recovery	ボールを持ってない選手についてのディフェンダーが、有利な状態にあるオフェンスを一時的に守り、再び自分のマークマンを守ること。 も せんしゅ ゆうり じょうたい いちじてき まも ふたたびぶん
ヘルプマン help man	ボールマンから直接パスを貰うことができる位置にいる選手。 ちよくせつ もら い ち せんしゅ
ボールスクリーン ball screen	ボールマンのディフェンダーにセットするスクリーン。
ボールマン ball man	ボールを持っている選手のこと。正確には、オン・ボール・マン。 も せんしゅ せいかく
ボールライン ball line	ボールのある地点を通過してエンドラインと平行に引いた仮想ラインのこと。 ちてん とお へいこう ひ かそう
ボックス・スタンス boxser's stance	足に前後差をつけて構えるスタンスのこと(スライドスタンスと同意語) あし ぜんごさ かま どういご
ポケット pocket	相手に取られずにボールをキープできる場所という意味で用いられる。ジャンプボールの際に、味方が2人で陣取り、ボールをゲットしようとするときにポケットを作るという。 あいて と い みもち さい みかた にんなら じんど つくるという
ポジション番号	コート上の5人に番号をつけ、選手の役割またはポジションをわかりやすくしている。1番はポイントガード、2番はオフ(シューティング)ガード、3番はスモールフォワード、4番はパワーフォワード、5番はセンターを示すのが普通。 じょう にん ばんごう せんしゅ やくわり ばん ばん ばん ばん ばん ばん ばん ばん ばん ばん しめ ふつう
ポストアップ post-up	オフェンス選手がポストエリアでディフェンダーを背中にしてポジションを取るとき。 せんしゅ せなか と
ボックス・アンド・ワン box and one	相手オフェンスの鍵となる選手をマンツーマンで守り、残りの4人が箱形のゾーンで守る方法。菱形になれば、ダイヤモンド・アンド・ワンという。 あいて かぎ せんしゅ まも のこ にん はこがた まもる ほうほう ひしがた
ポップアウト pop out	アウトサイドでボールをレシーブするために、ポンと飛び出す動き。 と だ うご
ボディチェック body check	相手の動きを身体で止めること。 あいて うご からだ と
ポンプフェイク pump fake	コート下で、ボールを持った選手がシュットすると見せかけてボールを上下にふるフェイクのこと。 した も せんしゅ み しょうげ
マッチアップ match up	ディフェンスとオフェンスの選手が相対すること。 せんしゅ そうたい
マッチアップゾーン match up zone	オフェンスの攻撃隊形に応じてゾーンを変化させ、ボールマンに対しては常にマンツーマンでディフェンスするように計画されたゾーンディフェンスの方法。ゾーンとマンツーマンの長所を取り入れたコンビネーションディフェンスである。 こうげきたいけい おう へんか たい つね けいかく ほうほう ちようしょ と い
ミート meet	オフェンス選手がパスを受ける際、ボールがくるのを待っているのではなく、ボールがくる方向へ飛び出してキャッチすること。 せんしゅ う さい ま ほうこう と だ

